



気密・断熱型ホーム床点検口

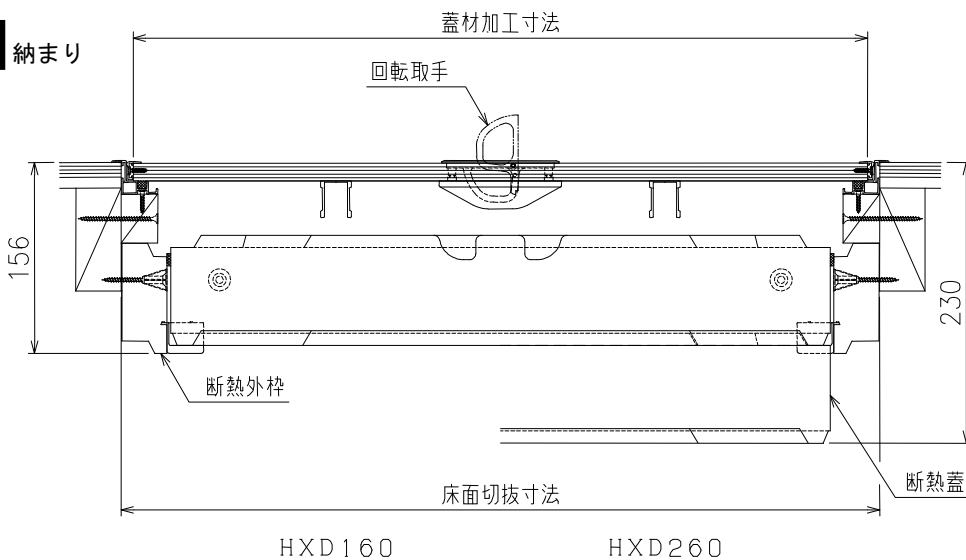
HXD (B/N) 60 型

安全に関するご注意

- 断熱材(断熱蓋・断熱外枠)は
 - ▼火気厳禁/可燃物です。火気を近づけないでください。
 - ▼有機溶剤・石油厳禁/シンナー等に接触させると溶解します。
 - ▼直射日光厳禁/紫外線によって劣化します。
 - ▼高温厳禁/変形するので70℃以上のものを近づけないでください。

使用上の注意

- 指づめ等の恐れがありますので、蓋を開けた際は横に置いてください。
- 床面や部材を傷つける恐れがありますので、横に置いた蓋の上にはのらないでください。
- 転倒や落下の恐れがありますので、使用後はすぐに蓋を閉めてください。



1. 付属部品

付属部品名	入数	付属部品名	入数
角形取手(L)	1	蓋補強材	2
回転取手取付けキャップ	1	なべタッピンねじ(4×12)	8
なべ小ねじ(M4×16)	2	断熱外枠ホールド樹脂	8
平座金(呼び径4)	2	さらタッピンねじ(3.6×50)	8
さら木ねじ(3.1×20)	8		
さらタッピンねじ(3×16)	8		

2. 床組み I

①床面切抜寸法で点検口を設置する床面を開口し、補強根太を全周にまわします。

【床面切抜寸法】
620mm × 620mm

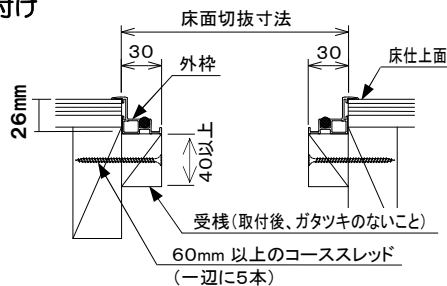
必ず620mm以内で開口してください。床の強度は、十分確保してください。切り抜いた床材は、蓋材に使用してください。改築の場合、下面の配管にご注意ください。

3. 床組み II

・床仕上げがフロー材以外の場合は、外枠の取付け及び蓋の組立ては仮施工としてください。

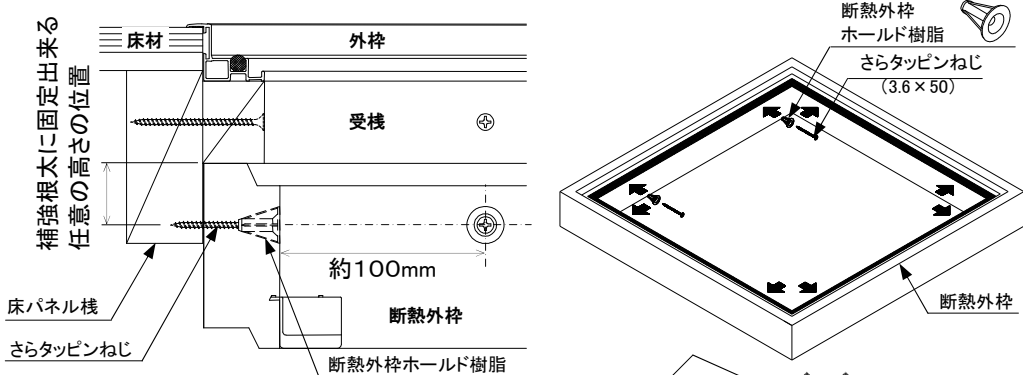
- ①開口部に外枠をはめ込みます。(仮置き)
- ②床仕上げから26mmの段になるように30×40mm以上の受棧をまわします。

- 床下に断熱外枠が縦に入る高さが低い場合は受棧を取付けるまえに、断熱外枠を床下に入れてください。
 - 受棧は60mm以上のコーススレッドを一辺に5本打って取付けてください。
- ※取付け後は受棧が動かないことを確認してください。



4. 断熱外枠の取付け

- ①断熱外枠を縦にして床下に入れ、受棧の底に押し当て、断熱外枠ホールド樹脂とさらタッピンねじ(3.6×50)で取付けます。



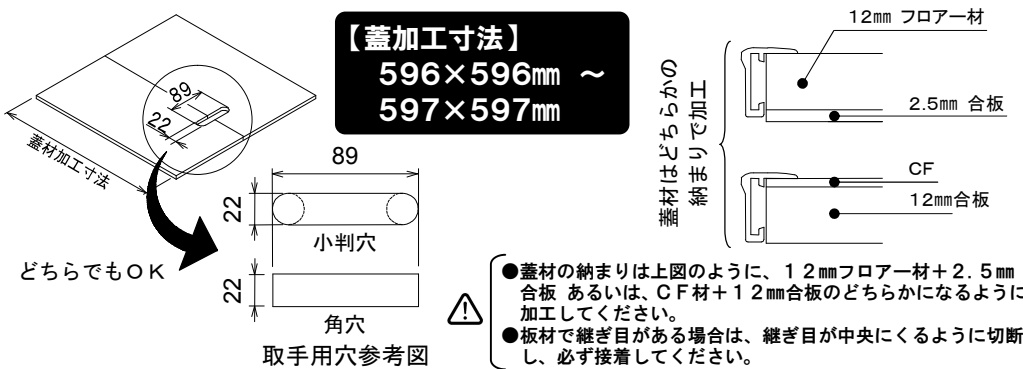
【取付け位置】
◆断熱外枠内側より約100mm
◆補強根太に固定出来る任意の高さの位置

- さらタッピンねじを強く締めすぎないでください。(断熱外枠ホールド樹脂が1~2mm埋まる程度。)
- 一度、断熱蓋をはめ込み、断熱外枠と断熱蓋の気密材との間に隙間があるときはさらタッピンねじをゆるめて隙間がなくなるように調節してください。
- 断熱外枠と床パネル棧等の間に隙間がある場合は、シリコン等で処理してください。

5. 蓋材の加工

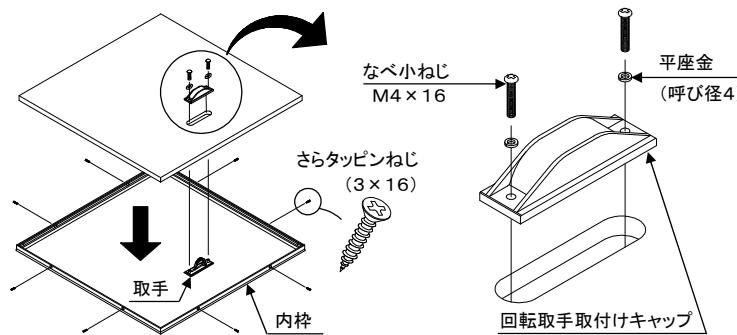
・蓋材の内枠は、床仕上げを内枠にのみ込ませ施工後、本取付けをしてください。

- ①蓋材加工寸法に蓋材(切り抜いた床材)を切断します。
- ②蓋材の内枠に蓋材をはめ込みます。
- ③蓋補強材が当たらない位置に取手用の開口、小判穴または角穴(22×89)を設けます。



6. 蓋の組立て

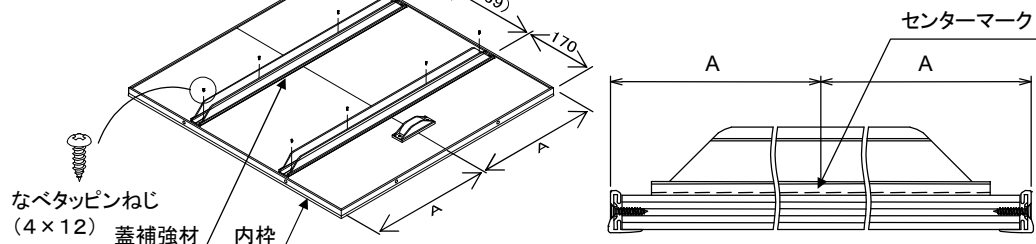
- ①内枠を裏返し、加工した蓋材をはめ込みます。
- ②内枠の外側から、内枠と蓋材をさらタッピンねじ(3×16)で固定します。
- ③蓋材になべ小ねじ(M4×16)で角形取手(L)と回転取手取付けキャップを取り付けます。



7. 蓋補強材の取付け

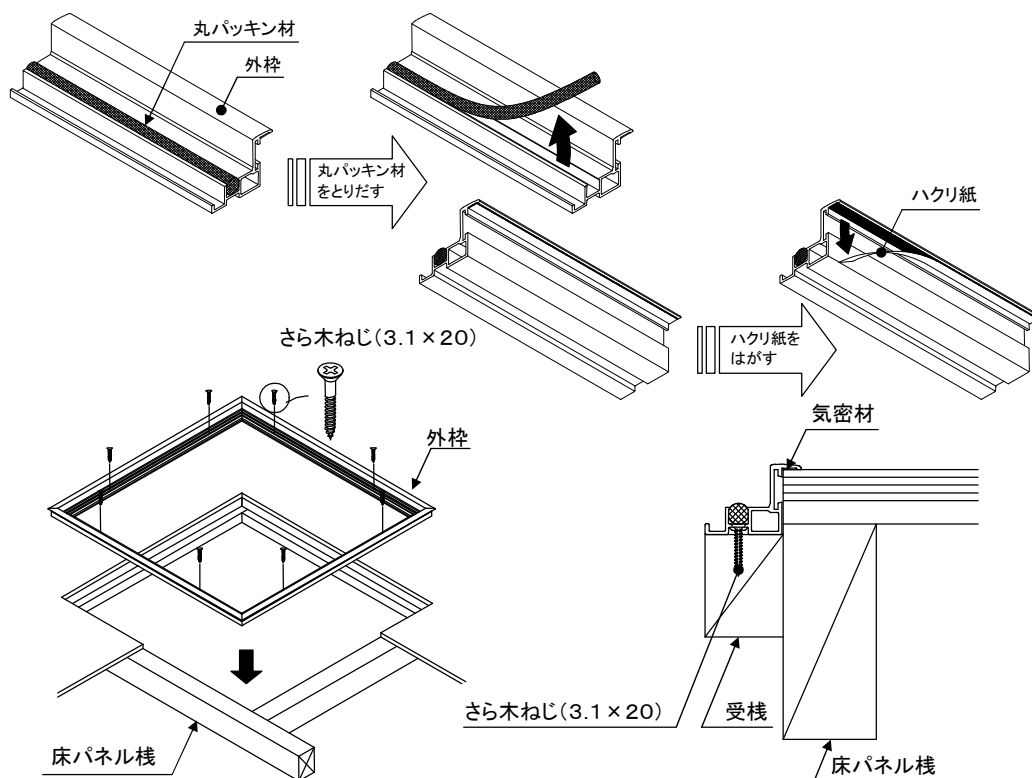
- ①蓋補強材を、蓋材の裏面になべタッピンねじ(4×12)で固定してください。この時板の継目と直角になるようにしてください。

蓋補強材は蓋材の中心にくるように取付けてください(下図参照)。



8. 外枠の取付け

- ・外枠は、床仕上げを枠にのみ込ませ本取付けをしてください。
- △仕上げがCFの場合は、CFを貼った後に本取付けをしてください。
 - ①外枠に入っている丸パッキン材を取り出します(外した部分にねじ穴があります)。
 - ②額縁の裏側にある気密材(両面テープ付)のハクリ紙をはがし、開口した床面に外枠をはめ込みます。
 - △外枠の気密材のハクリ紙は、床仕上げ材施工後、外枠を本取付けする際にはがしてください。
 - ③外枠と床面、外枠と受棧の間に隙間が生じないように注意し、さら木ねじ(3.1×20)で外枠を受棧に固定します。
 - ④丸パッキン材を最初に入っていたように、外枠にはめ込みます。



- 額縁の裏側にある気密材(両面テープ付)が強く押されるように外枠を取り付けてください。気密性が低下する場合があります。
- 蓋および外枠の加工寸法の対角寸法差は1mm以内としてください。
- 外枠をはめ込む際、開口部床面の汚れを拭き取ってください。汚れていると両面テープの粘着力が低下する恐れがあります。
- 外枠はめ込みの際は、一度接着すると位置の調整が困難なので注意してください。